

**緊急
情報****高温で葉色が急激に低下中！
確実な穂肥・追肥で乗り切ろう！**

- ・ 連日の高温で、葉色が大きく低下しているほ場があります。
- ・ 8月上旬ころまでは「気温がかなり高くなる」と予報されています。

1 7月25日現在のコシヒカリ生育状況 (拠点9地点平均、移植日平均5月9日)**葉色は著しく低下**：前回(7/20)からの葉色低下は-3.0ポイント(目標は-0.5ポイント)

| 区分 | | 本年値 | 目標差 | 前年差 |
|----|------|-------------|-------------|-------------|
| 葉 | SPAD | 30.9 | -1.6 | +0.6 |
| 色 | 葉色板 | 3.3 | -0.4 | ±0.0 |

2 コシヒカリの管理ポイント

8月の気象は高温が続く予報のため、登熟期の稲の消耗が懸念されます。ほ場の生育をふまえて穂肥を施用し、適切な栄養管理を行いましょう。

(1) 一発肥料の場合：葉色低下で追肥を実施

ただちに葉色を確認し、カラスケール3.3以下、SPAD値30以下の場合は、「出穂期12日前から5日前」に追肥を行う。

(2) 分施肥体系の場合：2回目は確実に。3回目も検討

- ・ 2回目の穂肥は生育量に関係なく確実に施用する。
- ・ 2回目の穂肥後も葉色が低い場合は、出穂期3日前までに3回目の穂肥を検討する。

- 葉色の判断に迷う場合は、JAや普及センターに御相談ください。
減減栽培で化学窒素肥料を使用する場合は、基準超過に御注意ください。

3 水管理

- ・ 登熟期間は飽水管理などで土壌表面が乾かないよう管理する。
- ・ 異常高温や強風・フェーンとなる場合は一時的に湛水し、急激な脱水による障害を防止する。
- ・ 高温条件で長期湛水すると根腐れにつながるため、飽水管理等を行う。

これから高温が続きます。農作業を行う際は高温の時間帯を避け、涼しい時間帯に行くなど熱中症にならないように注意しましょう。